

こども大綱策定に向けた 意見聴取を実施して

こども家庭庁長官官房参事官（総合政策担当）付
企画調整係

意見聴取の結果

#	意見聴取の取組	参加人数（延べ）	件数	取組の概要
1	子ども若者いけんの会	74人	154件	<ul style="list-style-type: none"> 子ども若者を対象とした公聴会（オンライン） 
	小学生年代	(29人)		
	中学生年代	(7人)		
	高校生年代～20代①	(17人)		
	高校生年代～20代②	(21人)		
2	公聴会	115人	185件	<ul style="list-style-type: none"> 子育て当事者や一般の方を対象とした公聴会（オンライン）
	子育て当事者向け	(56人)	(121件)	
	一般向け	(59人)	(64件)	
3	パブリックコメント	1,872人	1,730件	<ul style="list-style-type: none"> 子ども若者や一般の方を対象としたパブリックコメント
	子ども・若者向け	(124人)	(427件)	
	一般向け	(1,748人)	(1,303件)	
4	いけんぶらす	280人	1,360件	<ul style="list-style-type: none"> 子ども若者★いけんぶらすのメンバーを対象にした意見聴取
	アンケート	(133人)	(505件)	
	オンライン	(25人)	(185件)	
	チャット	(34人)	(203件)	
	対面	(26人)	(250件)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや若者が集まる施設などに、職員などが出向いて行われた意見聴取
	出向く型（児童館）	(16人)	(69件)	
	出向く型（児童養護施設）	(9人)	(35件)	
	出向く型（障がい者支援施設）	(5人)	(18件)	
出向く型（ひとり親支援団体）	(25人)	(95件)		
5	子ども団体・若者団体ヒアリング	10団体	79件	<ul style="list-style-type: none"> 子ども若者が主体となって活動する10団体へのヒアリング
6	経済界・労働界ヒアリング	4団体	28件	<ul style="list-style-type: none"> 経団連・日商・経済同友会・連合へのヒアリング
7	国と地方の協議の場	3団体	24件	<ul style="list-style-type: none"> 全国知事会・全国市長会・全国町村長会との協議の場
8	意見書	20団体	255件	<ul style="list-style-type: none"> パブコメの一環として、各団体から受領した意見書

合計 2,341人・37団体

3,815件*

*大綱に関連する意見のみ集計。複数の内容が含まれる意見は、複数件として集計。

「こども若者★いけんぷらす」を使った感想（よかった点）

①政策に**興味がなさそうなこども・若者**の声

施設の職員に言われて参加してくれたこども、たまたま遊びに来ていただけのこども。出向く型の活用により、こうした、もともと興味があって積極的に参加しているわけではないこどもたちの声も聴くことができた。ファシリテーター・事務局の運営（雰囲気づくり、興味を持ってもらえるような話の振り方、聴く姿勢など）がカギとなった。

②こども・若者に**参加方法の選択肢を示すこと**の重要性

対面・オンライン・チャット、アンケート、出向く型という、いけんぷらすの全てのツールを活用。組み合わせることで、居住地や生活スタイル等による制限を少なくし、また、こども・若者自身に、自分が意見を言いやすい方法・環境を選んでもらうことができた。

③「**こども・若者にとってわかりやすい**」を考えることは、 **おとなも含めた「社会全体にとってわかりやすい**」を考えること

こども・若者たちに伝わるよう、資料の作り方や説明のしかたを繰り返し考えた。その中で学んだことは、おとなへの説明にも生きている。

④**意見の反映とフィードバックは難しいが面白い**

「こども若者★いけんぷらす」を使った感想（気づき）

① 参加者と職員等とのコミュニケーション

いけんぷらすでは、こども・若者たちの意見を聴くことに徹しているが、政策を企画・立案する立場にある者（職員等）と双方向のコミュニケーションを取れる機会もあると望ましいか。

いけんぷらすの枠組み外で行った「こども若者いけんの会（こども・若者向けの公聴会）」に参加したこども・若者からは、自分の意見に対して政策を考える立場にある人が受け止めて返してくれて嬉しかった、といった感想も多くみられた。

●参考：こども・若者 いけんの会、公聴会 感想アンケート

●「コメントがあってよかった」という感想

- ・意見を聞いてくれて、それに対してコメントを丁寧に返してくれて嬉しかった。
- ・終始話しやすいよう気配りをしてくださり、また限られた時間で真摯に回答してくださっていると感じた。
- ・しっかりフィードバックをしていただいたこと、発言したことに対して否定することがなく、発言しやすい空気が作られていた点がよかった。
- ・委員の方々が真剣に私たちの意見に耳を傾け、受け止めてくださる姿勢がとても嬉しく、感謝している。

●「もっとコメントがほしかった」という感想

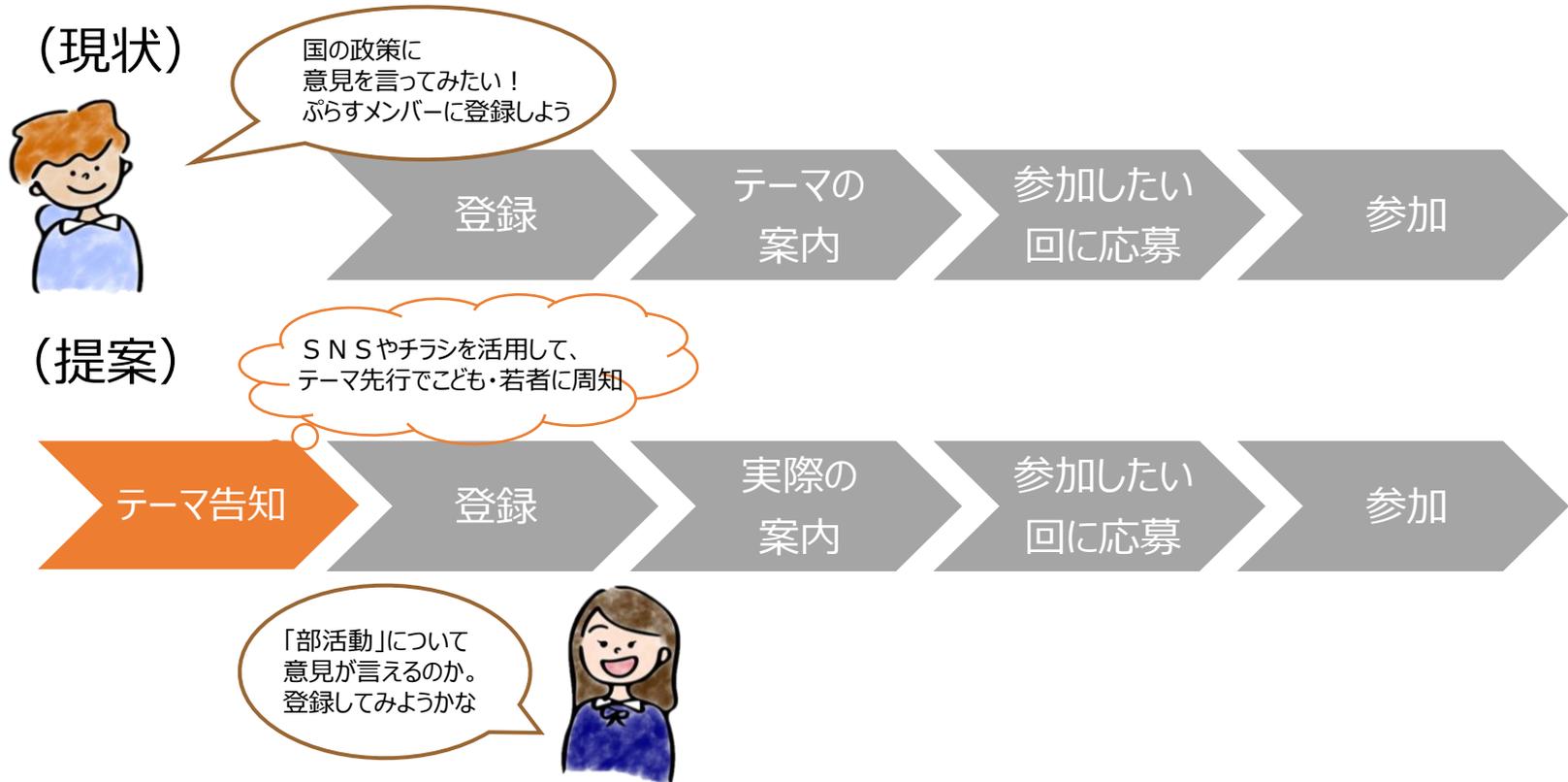
- ・時間がないのは承知の上で、意見陳述してからどのように国としてその意見を捉えていくのか1on1のレスポンスが聞きたかった。
- ・時間が足りず、私の意見に対する委員の意見がカットされてしまった。もし今後も何か意見をする場があれば、余すことなく全ての意見を聞けるように余裕を持った時間設定をしてほしい。

「こども若者★いけんぷらす」を使った感想（気づき）

② テーマを見てからぷらすメンバーへ登録

現状、「意見を言うこと」自体に関心があるこども・若者たちが、ぷらすメンバーとして登録してくれている？
→「このテーマなら意見を言ってみたい」という、テーマから関心を持ってもらい登録してもらうやり方もできれば、より興味を持ってもらえる可能性。

テーマ設定から実施までの期間に時間的余裕がないと難しいが、実施が決まっているものだけでも先に告知しておき、「●月●日までに登録できれば○○のテーマのいけんひろばに応募可能」のような案内のしかたもできる？



「こども若者★いけんぷらす」を使った感想（気づき）

③ 出向く型の活用拡大に向けて

- 施設職員への負担軽減のための検討
- 施設の活動目的との融合性
- 施設側からの応募という選択肢
- こどもたちへの事前説明の重要性と、出向く型での事前説明の難しさ

<実施にあたって>

- 実施場所の設定：普段からこどもたちが使っている場所で
- 時間の設定：こどもたちが集まる時間で



● 例：発達障害児支援センターでの意見聴取

- 意見聴取の前に「微細運動」のトレーニングとして、
緑の紙を線に沿ってちぎり葉っぱを作る。
それを大きな模造紙に貼り付け「こどもまんなかの木」を作る
- 「こどもまんなかの木」に実をつけよう！と言って、
実（りんごとみかん）の紙を配り、みんなで考えながら記入し、発表。
発表が終わったら木に貼り付け、「こどもまんなかの木」を完成させていく。